

——「アメイジンググレイス」などの讃美歌から、「聖者の行進」はじめスタンダード曲の数々——

ニューオリンズ Family Concert ジャズコンサート



20世紀初頭の
古典的トラッドジャズを
継承するジャズバンド。

演奏
**ニューオリンズ
ジャズハウズ**

加藤 晋一 (トランペット)
田村麻紀子 (クラリネット)
山本 広介 (トロンボーン)
公平 昭浩 (バンジョー)
東海林幹雄 (リーダー・ピアノ)
伊藤 譲一 (ベース)
三輪 朋彦 (ドラムス)

7名のフル編成

2018 **10/8** 月・祝 14:00~15:20 (受付13:30~)

会場 日本福音ルーテル熊本教会 チャペル

Tel 096-352-1772 熊本市中央区水道町1-21

*駐車場はございませんので、公共交通機関もしくは周辺の有料駐車場をご利用ください。

ルーテル熊本教会

肥後銀行

国道3号線

ローソン

水道町電停

鶴屋東館

水道町
交差点

YMCA
会場
駐車場有

東部センター (帯山)
10/6 [土] 18:30~19:50
(受付18:00~)
Tel 096-382-6661

みなみセンター (田迎)
10/7 [日] 11:00~12:20
(受付10:30~)
Tel 096-378-9370

むさしセンター (武蔵ヶ丘)
10/7 [日] 15:00~16:20
(受付14:30~)
Tel 096-248-6334

■入場料: 一般2,000円 中・高生1,000円 小学生500円 幼児無料 (保護者同伴) 当日各会場で受け付けます

New Orleans Jazz Hounds

ニューオーリンズ・ジャズハウズ

早稲田大学ニューオーリンズ・ジャズ研究会シニアが中心メンバー。浅草をはじめ、全国で活躍中。2008年のニューオーリンズ・ジャズ&ヘリティージ・フェスティバルでも高い評価を得る。(検YouTube)

●ニューオーリンズ・ジャズとは

ジャズ発祥の地・ルイジアナ州の黒人奴隷は、緩やかな扱いを受けていました。週一度の休み、集会、楽器の使用も自由。ニューオーリンズの有名なコンゴ広場での集会では、アフリカでの音楽、カリブや、フランス風(かつて植民地の歴史)の音楽を楽しんでいました。19世紀半ばの米国・南北戦争後、軍楽隊の管楽器が大量に放出さ

れ、それらを黒人たちは、見様見まねで演奏し、ジャズが誕生したと言われていました。

彼らが出会った代表的西洋音楽は教会での讃美歌。世界各国の移民が持ってきた民謡なども、ジャズのルーツに影響を与えました。虐げられ、差別的社会に生きる彼らの演奏したニューオーリンズ・ジャズは、弱い立場にある人々へ希望と勇気を与える「平和の音楽」と言われます。

解説

ニューオーリンズ・ジャズハウズと熊本YMCAの縁

熊本洋学校卒業生で熊本バンドの一人、海老名弾正は同校の流れを継ぐ熊本英学校の校長として明治22年熊本に赴任。福田令寿熊本YMCA初代理事長はその英学校第一期生。教師の一人に熊本草葉町教会宣教師も務めたシドニー・ギューリックがいました。(弟ルーサー・ギューリックは米国YMCA主事、バスケットボールの発案や、YMCAの赤▽マークを考案しました)。

シドニー・ギューリックは後に同志社等で長年教えます。同志社カレッジソングは、当時、米国YMCAから派遣され、近江兄弟社を興した盟友で建築家のW.M.ヴォーリズとの共作です。

ギューリックは大正2年に帰国後、米国での日本人移民排斥運動に直面。そこで旧知の実業家、渋沢栄一(環太平洋YMCA議長)と両国の将来の平和を担う、日米の子どもたちを対象に、全米の教会学校、YM・YWCA、ガールスカウト等の協力のもと「日米友情人形交流事業」を始めました。

昭和2年2月米国から横浜へ約12,000体の人形が到着。全国の小学校と幼稚園へ送られました。同年秋、58体の市松人形が日本の都道府県単位

で米国各州へ答礼として送られました。しかし、第二次世界大戦中、米国からのお人形たちは、敵のスパイとして、破壊されました。今日、約300体のみが現存。八代には宮原小学校と鏡小学校に各1体が学校の宝として大切に保管されています。

昭和2年の熊本からの答礼人形は、ルイジアナ州立博物館へ。しかし、博物館のコレクション内で紛失。これを知った熊本市民有志と熊本YMCAは、1987年ギューリックの孫ギューリック三世を熊本へ招き、新日米友情人形交流事業を再開。男女2体の市松人形を同州へ送りました。今回は、州の判断でニューオーリンズYMCAが州を代表し、館内に展示保管することとなりました。

しかし、2005年のハリケーン・カトリーナは、この2体の日本人形を流失させました。

ニューオーリンズ市とニューオーリンズYMCA被災復興支援のため、2007年秋に熊本・八代・鹿児島島の3都市で、市民有志、各地ワイズメンクラブ、熊本YMCAは、ニューオーリンズより実力派ジャズバンドを招き、総計約1,500名が集うチャリティコンサートを開催しました。

その折、東京会場(渋谷の日本基督教団山手教会)の責任者が「ニューオーリンズ・ジャズハウズ」リーダー・東海林幹雄さん。以来、ジャズハウズと熊本YMCAは交流を行っています。